

《学校評価シート2》
平成28年度

学校名	県立ゆり支援学校道川分教室	評価領域	センター的機能
-----	---------------	------	---------

重点目標	病弱教育に係るセンター的機能の推進	P
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から「病弱・肢体不自由教育支援事業」を活用しながら取り組んでいる。 ・病弱・身体虚弱特別支援学級設置小・中学校への訪問が定着しつつある（H27訪問率88.9%、16校/18校中）。訪問においては、教育的ニーズに応じた具体的な指導や助言、提案等が求められている。 ・秋田きらり支援学校と連携して指導力や専門性の向上を図るとともに、設置校への同行訪問や秋田県病弱教育研修会の共同開催などを進めている。 ・病弱虚弱教育に関する情報や指導実践等の蓄積・共有・発信が課題である。 	
具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の病弱・身体虚弱特別支援学級との結び付きを強化し、教育的ニーズに応じた具体的な指導や助言、提案等を提供するとともに、病弱教育担当教員間のネットワーク構築を図る。 ・学校評価の項目「センター的機能について、地域のニーズに応じた支援ができてい」「病弱教育に係るセンター的機能についてニーズに応じた支援が行われている」で平均評価点3.00（満点4.00）以上にする。 	
目標達成のための方策	<ul style="list-style-type: none"> ・病弱・身体虚弱特別支援学級設置小・中学校訪問の実施。 ・秋田県病弱教育研修会等の開催。 ・病弱虚弱教育に関する情報を通信やホームページ等で公開。 	
具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・病弱・身体虚弱特別支援学級設置校訪問を早い時期（6～8月）に実施。（病弱教育アドバイザーに同行。特別支援教育セミナーによる訪問も含めて目標訪問率100%） ・秋田県病弱教育研修会等を秋田きらり支援学校と共同開催。（年2回、小・中学校関係者の参加数倍増、市町村教育委員会を經由して全ての小・中学校に案内） ・通信「病弱教育だより」やホームページを通じて、病弱教育に関する情報（指導実践、病弱教育支援ガイド等）を発信。 	D
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・病弱・身体虚弱特別支援学級設置小・中学校（22校）への訪問が定着してきた。早い時期（6月～8月）にすべての設置校を訪問することで、児童生徒の実態や校内支援体制、学級の現状、教育的ニーズなどを把握することができ、担当教員等への具体的な指導や助言、提案等を提供できた。（訪問率100%、授業参観設定率72.7%） ・第2回病弱教育研修会には約150名（うち小・中学校関係者11名）の参加を得ることができた。参加者アンケートの結果では実践発表95%以上、講演98%以上の好評価をもらった。協議や情報交換などの機会を設定できなかったことが課題であった。 	
自己評価 ----- (評価) A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価では項目「センター的機能について、地域のニーズに応じた支援ができてい」が平均評価点3.43、「病弱教育に係るセンター的機能についてニーズに応じた支援が行われている」が評価点3.21で、昨年度と同様に高い評価を維持している。成果を実感できている一方で、病弱教育に関する専門性の向上や、病弱教育に関する情報の収集・蓄積及び提供・発信のシステム確立も必要と感じている。 	C
学校関係者 評価と意見 ----- (評価) A	<ul style="list-style-type: none"> ・設置校訪問に関するアンケートを実施（回答18校）したところ、訪問時期・人数・内容が「適切だった」と回答した学校が100%、訪問の「成果があった」と回答した学校が100%という結果であった。訪問時の指導・助言が、学級担任の不安解消や課題解決につながり、その後の学習指導や生活指導、学級経営、保護者対応などに活かすことができたとの感想が寄せられた。 	
自己評価及び 学校関係者評 価に基づいた 改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・病弱・身体虚弱特別支援学級設置小・中学校訪問の継続実施。（6月上旬～8月末、目標；訪問率100%、授業参観設定率100%） ・病弱教育地区別情報交換会の開催。（夏季休業中、県北・中央・県南地区で各1回） ・秋田県病弱教育研修会の開催。（冬季休業中、内容；講演、実践発表等） ・病弱教育に関する情報のデータベース化。（病弱教育支援ガイド改訂、指導実践等） 	A

